

国松希根太 連鎖する息吹

2025 年 12 月 13 日(土)－2026 年 5 月 10 日(日)

十和田市現代美術館



奥入瀬のブナを使った制作風景(2025年9月26日 十和田市) 撮影:小山田邦哉

十和田市現代美術館では、2025年12月13日(土)-2026年5月10日(日)まで、北海道を拠点とする彫刻家 国松希根太の、美術館での初の個展を開催します。

国松は00年代初頭より、北海道中南部の白老から内陸に位置する飛生の旧小学校を改造した「飛生（とびう）アートコミュニティー」を拠点に活動してきました。北の大地で長い年月を経て独自のフォルムを形成した木々と出会うことで作品を制作、近年はとりわけ地平線や水平線、山脈、洞窟などの風景の中に存在する輪郭(境界)を題材に彫刻や絵画、インスタレーションなどを発表しています。木の表面や内部に鑿（のみ）などの刃や火を入れたり、鋳物や雪など大地の素材に向き合い生まれる作品は、国松と自然との一期一会のコミュニケーションといえるでしょう。

国松はまた、2009年より飛生アートコミュニティーにおいて敷地内の森を守りながら飛生芸術祭を開催、2015年よりAyoro Laboratoryとして近隣のアヨロと呼ばれる地域を中心に土地を探索するフィールドワークを展開しています。本展は、国松の代表的な作品に出会っていただくまたとない機会になるだけでなく、彼が十和田の自然と出会うことによって生まれた新作を披露する初の機会となります。加えて、国松の多岐にわたる活動—飛生アートコミュニティーやAyoro Laboratory—そして父の國松明日香(彫刻家)や祖父の国松登(画家)へと連なる作家の系譜も紹介いたします。本展を通して、作品の息吹、国松の息吹、大地の息吹、そして時間や空間を介して人々に連鎖しつづける創造の息吹を感じていただければ幸いです。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：下山（しもやま）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【展示構成】

国松の近年の代表作に始まり、十和田との出会いにより生まれた新作をメインに、父方のルーツ（東北・秋田）や飛生アートコミュニティーに至る流れを体験いただける展覧会。

- ・奥入瀬のブナによる十和田での滞在制作を含む青森の木を素材とした新作を発表
- ・国松三代一希根太、國松明日香、国松登を作品とともに紹介
- ・2026年に40周年を迎える飛生アートコミュニティーの紹介

展覧会は、国松の代表作である巨木を素材にした彫刻WORMHOLEシリーズが林立する大きな空間から始まります。その後、国松の本展での新作世界に入ります。廊下は、国松自身が歩いた十和田湖・奥入瀬溪流の風景を念頭に制作された下北のヒバを使った彫刻で構成されます。その奥にある空間には、奥入瀬のブナを使い十和田で滞在制作されたWORMHOLEが人々を迎えます。廊下を戻る途中の空間では、希根太、父・明日香、祖父・登、そして秋田・由利本荘のこけし作家で北海道に移住した曾祖父・美登里へと連なる国松家の創造の連鎖を、父、祖父の作品とともに紹介します。Cube Cafe & Shopの空間では、2026年に40周年を迎える飛生アートコミュニティーの歴史、そして国松らが立ち上げた飛生芸術祭の活動を紹介します。

【開催概要】

展覧会名	国松希根太 連鎖する息吹
会期	2025年12月13日（土）－ 2026年5月10日（日）
開館時間	9：00－17：00（入場は閉館の30分前まで）
休館日	月曜日（祝日の場合はその翌日）および12月30日、31日、1月1日（年末年始）、 1月13日－16日、2月2日－6日（メンテナンス休館）
会場	十和田市現代美術館
観覧料	一般1800円（常設展含む）、高校生以下無料
主催	十和田市現代美術館
後援	青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、エフエム青森、デーリー東北新聞社、 東奥日報社、十和田市教育委員会
協力	十和田燐寸軸木株式会社、十和田乗馬倶楽部
企画	四方幸子

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：下山（しもやま）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

国松 希根太（くにまつ・きねた）



Photo by Sasajima Yasuhito

1977年北海道生まれ。多摩美術大学美術学部彫刻科を卒業後、2002年より飛生アートコミュニティー(北海道白老町)を拠点に制作活動を行なう。またAyoro Laboratory(2015年-)の活動を立石信一と展開、飛生アートコミュニティーで結成されたアーティスト・コレクティブ THE SNOWFLAKES(2020年-)の一員としても活動が続ける。近年の主な個展に「国松希根太展 TERRA」(t.gallery、東京、2024年)、「国松希根太展 地景を刻む」(飛生アートコミュニティー、白老、2022年)が、グループ展に「リフレクションズいつかの光」(札幌芸術の森美術館、札幌、2025年)、「ART for EXPO 2025」(夢洲、大阪)、札幌国際芸術祭2024(未来劇場(東一丁目劇場施設)、札幌)がある。2024年に『国松希根太この地で息吹く』(求龍堂)を刊行。

<https://kinetakunimatsu.com/>

【イベント】

国松希根太によるギャラリートーク

日時	2025年12月13日(土) 14:00-14:40
会場	十和田市現代美術館 企画展示室
料金	参加無料・要企画展チケット

トーク：「国松希根太 連鎖する息吹」について

日時	2026年1月18日(日) 14:00-16:00
会場	十和田市現代美術館
料金	参加無料
出演	四方幸子(十和田市現代美術館 館長、本展キュレーター)

トーク：歩くことから

日時	2026年3月1日(日) 14:00-16:00
会場	十和田市現代美術館
料金	参加無料
出演	立石信一(Ayoro Laboratory、国立アイヌ民族博物館 教育普及室 室長補佐) 国松希根太(Ayoro Laboratory)

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：下山(しもやま)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

トーク：国松三代～希根太・明日香・登をめぐって

日時 2026年3月21日（土）14:00–16:00
会場 十和田市現代美術館
料金 参加無料
出演 浅川 泰（元北海道立近代美術館 学芸課長、北海道立文学館 理事）

クロージング・セッション：北東北と北海道をめぐって

日時 2026年5月9日（土）14:00–16:00
会場 十和田市地域交流センター とわふる（青森県十和田市稲生町16-1）
料金 参加無料
出演 奈良美智（美術作家）、国松希根太

※会期中に本展キュレーターによるギャラリートークを行います。

※イベントの詳細はWebにてお知らせします。

十和田市現代美術館

2008年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138

www.towadaartcenter.com



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：下山（しもやま）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

広報用図版

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙をFAXまたはE-mailにてお送りください。

FAX 0176-20-1138

TEL 0176-20-1127

EMAIL media@towadaartcenter.com

住所 034-0082 青森県十和田市西二番町10-9
十和田市現代美術館 広報 行

画像ご使用に際して

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

広報用図版 申請フォーム

媒体名

媒体ジャンル 新聞 / 雑誌 / 美術誌 / テレビ / WEB
/ その他 ()

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：下山（しもやま）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

[1]



青森県十和田市奥入瀬のブナ
2025年5月
撮影：小山田邦哉

[2]



奥入瀬のブナを使った制作風景
2025年9月26日 十和田市
撮影：小山田邦哉

[3]



十和田での制作風景
2025年9月24日
撮影：国松希根太

[4]



十和田での制作風景
2025年10月4日
撮影：小山田邦哉

[5]



十和田での制作風景
2025年10月4日
撮影：小山田邦哉

[6]



完成間近の《WORMHOLE》
2025年10月6日
撮影：国松希根太

[7]



下北のヒバを使った新作
《7 sculpture sketches》制作風景
2025年8月15日 北海道・飛生のアトリエ
撮影：国松希根太

[8]



[参考写真] 《WORMHOLE》2025年
約390×120×100cm 木(ミズナラ) 2025年
日本国際博覧会 展示風景
撮影：忽那光一郎

[9]



[参考写真] 《WORMHOLE》2024年 札幌国
際芸術祭2024 展示風景
撮影：藤倉翼

[10]



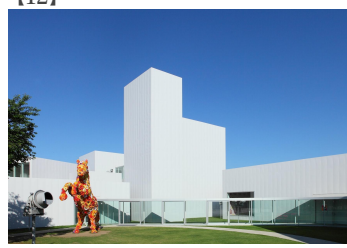
[参考写真] 《HORIZON》2017年 80×180cm
板にアクリル絵具と木炭/鉄
撮影：瀧原界

[11]



撮影：笹島康仁

[12]



十和田市現代美術館

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：下山（しもやま）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com